



Japan Display Inc.

ジャパンディスプレイグループ 紛争鉱物への対応

SCM部 調達管理課

【紛争鉱物調査の目的】

コンゴ民主共和国(DRC)と周辺9カ国、さらに紛争地域及び高リスク地域(CAHRAs)で採掘される鉱物に対し、武装勢力の資金源や児童労働等の人権侵害に関わっている製錬業者を使用していないかどうか調査し問題があれば是正していくことを目的としています。

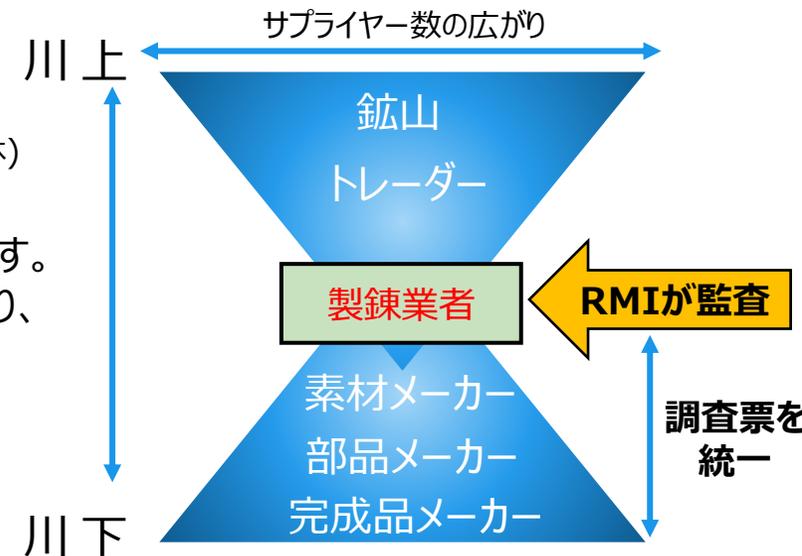
【紛争鉱物調査の全体像】

RMI*が提唱するRMAP*と呼ばれる調査プロセスにて実施しています。

*RMI : Responsible Minerals Initiative (世界の企業や団体が加盟する責任ある鉱物調達の問題の取り組みを主導している団体)

*RMAP : Responsible Minerals Assurance Process (鉱物資源の責任ある調達プロセス)

RMIがサプライチェーンの中で比較的少数の製錬業者を監査し、適合する製錬業者に認証を付与します。その後使用するRMI作成の調査票はどの製錬業者を使用しているか回答する内容として統一されており、サプライチェーン川下での調査を効率化しています。(右図ご参照)



【調査票フォーマット】

調査対象の鉱物によって**CMRT/EMRT/AMRT**の三種類に分かれています。(下記図ご参照)

それぞれRMIが作成した世界共通の調査票フォーマットになります。

	CMRT Conflict Minerals Reporting Template	EMRT Extended Minerals Reporting Template	AMRT Additional Minerals Reporting Template
対象鉱物	錫、タンタル、タングステン、金 (3TG)	コバルト、マイカ +銅、グラファイト、リチウム、 ニッケル (2025年4月より鉱物追加)	CMRT、EMRT以外の鉱物 (アルミ、マンガ、銀、亜鉛など)

※参考 : JEITA (一般社団法人電子情報技術産業協会) 責任ある鉱物調達検討会

各国の法規制(アメリカのドッド・フランク法やEUの紛争鉱物規制など)及び弊社顧客からの調査要請を受け、サプライチェーンの一員として調査の実施とともに、人道的な観点から紛争鉱物の不使用に向け取り組んでいます。

具体的には、OECDガイダンスやJEITAの取り組み等のガイドラインに沿って、RMIが開発したツール(紛争鉱物報告テンプレート)を用い、紛争鉱物の使用状況や製錬業者の特定などの調査を実施します。

また、サプライヤー様におかれましても調査結果に基づき、紛争鉱物不使用に向けた推進と弊社の紛争鉱物への取り組みにご賛同頂き、調査へのご協力をお願いいたします。

JDI運用

JDIよりメールにて調査依頼を実施
サプライヤー様もメールにて調査回答をお願いします。



※回答時は紛争鉱物報告テンプレート送付をお願いします。



Japan Display Inc.

紛争鉱物調査へのご理解・ご対応を
お願いいたします。

本件に関するお問合せ

jdi.csr-conflictminerals.zz@j-display.com

株式会社ジャパンディスプレイ
SCM部 調達管理課



PersonalTech For A Better World